



⊗は石巻測候所

第7図 第6図実測当日の英国気象局式による $10^{-6}$ および $10^{-7}$ 単位の等値線

は $10^{-6}$ 単位は階級3に、 $10^{-7}$ 単位に階級0にそれぞれ対応する。

### 7. あとがき

以上石巻の2種類の悪臭と気象との関係について調査した結果を述べた。悪臭に対する対策は一応県・市当局によってとられてはいるが、魚類化製場の場合是一般に小企業が多く水洗法による除去装置は設備されているものの、資金や工業用水等との関係もあって十分の効果があがっていないのが実状である。一方パルプ工場の場合、近くに松島航空隊が駐屯しているため煙突高度に制限を受けているが、新たに90mの煙突を設けた現在ある煙突に高低をもたせて同一方向に煙が流れないように配慮したり、またとくに悪臭のひどいクラフトパルプにつ

いては最新式のパルプ洗浄装置と回収ボイラーによって外に排出しないまま焼却してしまう方法などを採用し、引き続き県の衛生研究所とタイアップして監視と研究につとめており、今後はかなり効果があるものと期待される。

終わりに、この調査を行なうにあたりパイパルによる上層風観測に協力して下さった荒井技術係長と佐々木茂夫技官に感謝したい。また本調査に仙台管区気象台から推進費をご考慮いただくとともに、上層風観測のための器材についても種々ご配慮いただいた。記して厚く御礼申しあげる。

### 参考文献

- 1) 伊藤 彊自, 1961: 大気汚染と制御, 応用気象学講座, 11, 85-90.
- 2) 気象庁予報部, 1969: 大気汚染の気象予報, 1-59.
- 3) 気象庁, 1968: 大気汚染気象調査の手引き, 2 ~ 1-2 ~ 16.
- 4) 箕輪 年雄, 1963: 大気汚染の予報, 気象研究ノート, 14, 263-271.
- 5) 門脇 武夫, 1952: 石巻における海陸風, 研究時報, 4, 248-250.
- 6) 蔵重 一彦, 1953: 北上河谷の夏の風, 研究時報, 5, 547-554.
- 7) 草野 和夫, 1960: 宮城県の流れについて, 研究時報, 12, 709-718.
- 8) 池田 学, 1970: 大気拡散の基礎智識, 東北技術だより第46号, 23-34.

## 気象研究ノート近刊のお知らせ

### 気象研究ノート編集委員会

気象研究ノート第110号は「気象力学に用いられる数値計算法」です。その内容は下記の通り。

#### 「気象力学に用いられる数値計算法」目次

- 第1章 はしがき
- 第2章 気象力学で用いられる偏微分方程式の分類
- 第3章 差分法について(総論)
- 第4章 差分スキーム(1) —Local grid system
- 第5章 差分スキーム(2) —Global grid system
- 第6章 差分スキーム(3) —Miscellaneous problems
- 第7章 境界値問題(DirichletとNeumannの問題)
- 第8章 初期値問題(Cauchy problem)
- 第9章 スペクトル法
- 第10章 数値予報モデルの時間積分

第11章 対流モデルの時間積分

第12章 気象じょう乱のスペクトル解析

第13章 あとがき

#### 付録

執筆者は新田尚, 大林智徳, 近藤洋輝, 遠藤昌弘, 菊池幸雄, 岩嶋樹也の諸氏です。

なお、発行は72年2月の予定。定期購読者以外で、本号を特別に希望される方は、印刷部数を確認する上に必要ですので、天氣に添付されたハガキで至急事務局までお申し込み下さい。学校、官署などでまとめて購入される場合も同様な要領でご連絡下さい。価格は学会員の場合600円程度。